

ラインD 県道10号線～コンテナヤード

X:コンテナヤードからの距離 h:浸水深(津波痕跡高)



D3地点($X \doteq 0.7\text{km}, h > 3.0\text{ m}$)



写真左道路上が最も地盤が高く浸水深約3.0m



道路より低い工場の被害状況

D4地点($X \doteq 0\text{km}, h \doteq 8.0\text{m} ?$)



平屋の屋根にコンテナ有
コンテナの高さ2.6m



コンテナの被災状況

参考写真



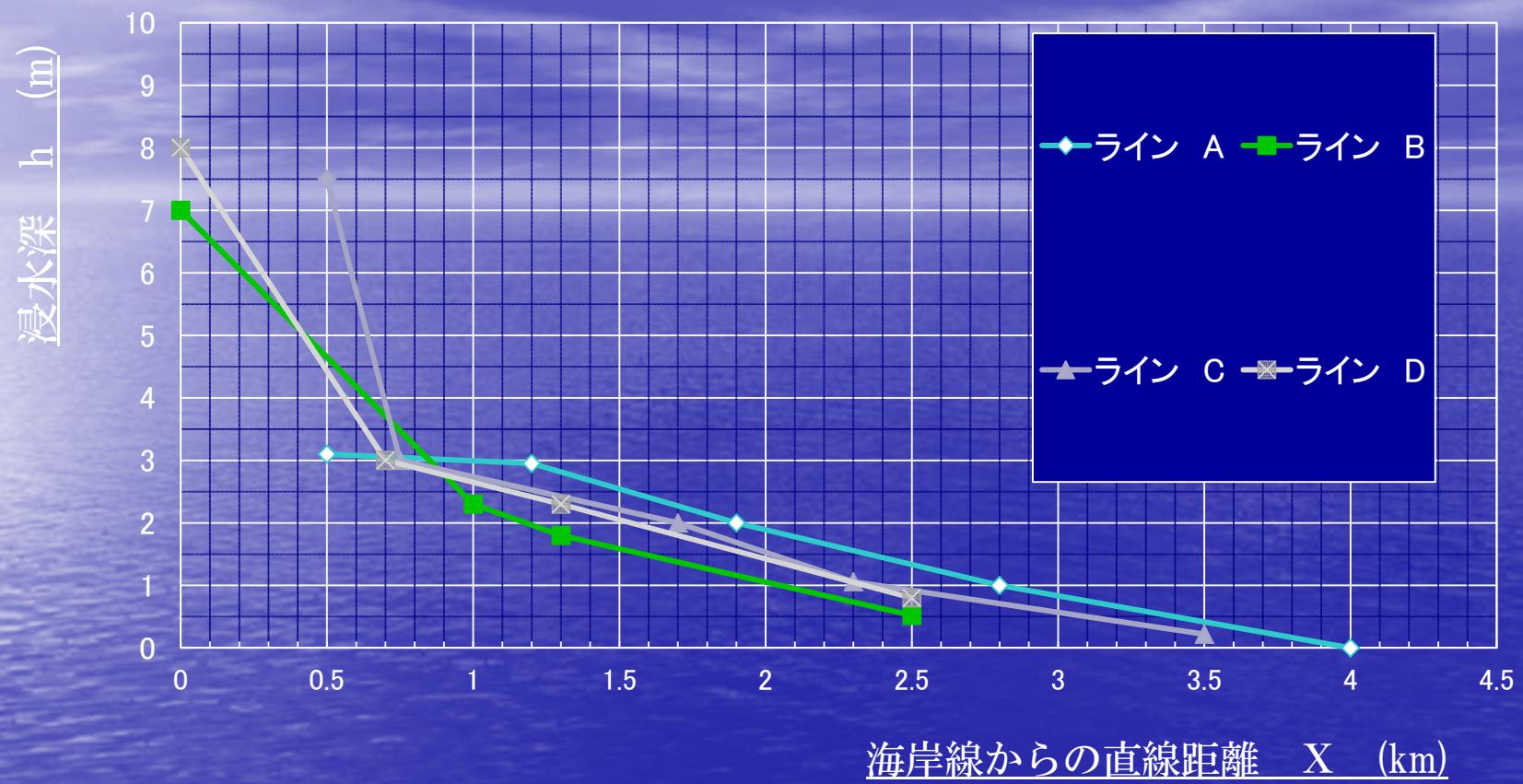
鉄塔の上方に松の枝有
荒浜小学校向

C4地点(X ≈ 0.50km, h ≈ 8.0m ?)



照明塔に津波痕跡?
コンテナの高さ2.6m

D4地点(X ≈ 0km, h ≈ 8.0m ?)



浸水深と海岸線からの直線距離の関係

まとめ

- ・ 浸水深と海岸線からの距離の関係は、4ラインとも同傾向を示す。
 - ・ 浸水深が2m以上になると木造家屋はほぼ全壊となる。
 - ・ 浸水深2m以上および海岸線からの距離約1Km以内では、流失、全壊を含めほとんどの建物は半壊以上の被害を被っている。
-

- ・ インターネットに津波来襲時の貴重な動画が非常に多くアップされていた。今後これらを活用した津波の解析(陸上氾濫流速、波力、浸水深等)が進むと思われる。